【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2011-5728(P2011-5728A)
【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)
【年通号数】公開・登録公報2011-002
【出願番号】特願2009-150961(P2009-150961)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/13　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　5/06　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/12　Ａ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ
Ｂ６５Ｈ　5/06　Ｐ
Ｂ４１Ｊ　29/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成24年5月15日(2012.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録媒体の記録面を反転させることにより前記記録媒体の両面に画像を形成可能な画像形成装置であって、
装置本体と、
前記装置本体の上部に配置され、前記記録媒体の記録面に画像を形成する画像形成手段と、
前記画像形成手段の下方に配置され、前記記録媒体の記録面を前記画像形成手段に対向させて搬送する搬送手段と、
前記装置本体の下部に配置され、前記搬送手段に給紙される前記記録媒体が積載される給紙手段と、
前記搬送手段と前記給紙手段との間に配置され、前記記録媒体の記録面を反転させる反転手段と、を備え、
前記反転手段は、前記記録媒体を反転させる搬送経路を有する反転搬送部と、前記装置本体の前面側に設けられ、前記反転搬送部を覆う前面カバー部と、を有し、
前記前面カバー部が前記装置本体の前面側から前記反転手段に対して着脱可能であり、
前記給紙手段から前記搬送手段に前記記録媒体を給紙する経路は前記反転手段よりも前記装置本体奥側に形成されていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記反転手段は、前記装置本体の前面側から前記装置本体に対して着脱可能であることを特徴する請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
少なくとも前記装置本体の前面部および前記前面カバー部のいずれか一方に設けられ、前記画像形成手段により画像が形成された前記記録媒体が排紙される排紙手段をさらに備

え、
前記排紙手段が、前記装置本体および前記前面カバー部に対して着脱可能であることを特徴とする請求項１または２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記給紙手段は、前記装置本体の前面から前記装置本体に対して着脱可能であることを特徴とする請求項１ないし３のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記画像形成手段が、複数のノズルが形成された記録ヘッドを有し、前記記録ヘッドの前記ノズルからインク滴を吐出することにより、前記記録媒体の記録面に画像を形成するインクジェット方式からなることを特徴とする請求項１ないし４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項６】
請求項１ないし５に記載の画像形成装置がプリンタ装置からなることを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明に係る画像形成装置は、上記目的を達成するため、記録媒体の記録面を反転させることにより前記記録媒体の両面に画像を形成可能な画像形成装置であって、装置本体と、前記装置本体の上部に配置され、前記記録媒体の記録面に画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段の下方に配置され、前記記録媒体の記録面を前記画像形成手段に対向させて搬送する搬送手段と、前記装置本体の下部に配置され、前記搬送手段に給紙される前記記録媒体が積載される給紙手段と、前記搬送手段と前記給紙手段との間に配置され、前記記録媒体の記録面を反転させる反転手段と、を備え、前記反転手段は、前記記録媒体を反転させる搬送経路を有する反転搬送部と、前記装置本体の前面側に設けられ、前記反転搬送部を覆う前面カバー部と、を有し、前記前面カバー部が前記装置本体の前面側から前記反転手段に対して着脱可能であり、前記給紙手段から前記搬送手段に前記記録媒体を給紙する経路は前記反転手段よりも前記装置本体奥側に形成されている構成を有する。